

令和4年3月15日

貝塚市議会議長 殿

## 研修会参加報告書

報告者 平岩征樹

参加者 平岩征樹

### JISSEN 自治体政策青年ネットワーク 2022年第1回研修会

開催日：令和4年2月17日（木）13：00～17：00

会場：参議院議員会館

#### 1、コロナウイルス感染症対策に有用な室内環境について

講師：篠原直秀氏（一般社団法人室内環境学会副理事長）

コロナウイルス感染症対策について科学的な知見に基づいた対策について。効果があると言われている換気は、換気の仕方によっても、室内の場所によっても、条件が違えば効果も違うことを科学的実験の検証も交えて分かりやすくお話し頂いた。行政が行っている感染症対策についてもディスカッションを行った。

#### 2、オムツ持ち帰りについて

講師：脇実弘氏（BABY JOB 株式会社）

木村和孝氏（さいたま市私立保育園協会副会長）

未だに保育園児のオムツを持ち帰らせている自治体が多いというテーマを取り上げ、現場の当事者からの話を伺った。持ち帰りを強要している行政側に論理的と思えるような理由は見当たらないが、園で処理をする場合の予算化がネックになっているものと考えられる。時代遅れとも取れるオムツ持ち帰り問題について、解消に向けての方法のディスカッションを行った。

#### 3、所有者不明土地の解消に向けた法改正のポイント

講師：法務省

所有者不明土地の解消に向けた民事基本法制の見直しについて、民放等一部改正法・相続土地国庫帰属法の概要について法務省の担当者からお話を伺った。相続登記がされていない等により、所有者不明土地が発生していること、また、メガ共有地と呼ばれる複数の相続人による共有の土地は社会問題となっ

ているが、登記の義務化によって解消できるのか、その後のロードマップについて意見交換を行った。

開催日：令和4年2月18日（金）10：00～11：30

会場：参議院議員会館

#### 1、ICT教育・英語教育について

講師：行正り香氏（児童英語教育実践家）

GIGA スクール構想により全小中学校の児童生徒1人に1台タブレットが貸与される中で、教材の活用や英語教育について海外の事例も踏まえた先進事例について。ICT教育、児童英語教育の実践者であり、料理研究者としても著名な行正り香先生からお話を伺い、ディスカッションを行った。

開催日：令和4年2月18日（金）12：00～13：30

分身ロボット OriHime による新たな働き方、社会との繋がりについて

会場：分身ロボットカフェ DAWN ver.β

講師：吉藤オリィ氏（株式会社オリィ研究所）

外出困難者である従業員が分身ロボット『OriHime』&『OriHime-D』を遠隔操作しサービスを提供している新しいカフェで、株式会社オリィ研究所が運営されている。接客頂いたパイロットも広島の高齢障害の女性で、脳神経に問題がありベッドの上からお仕事をされているそうだ。海外からのパイロットも多く、マネタイズまでよく考えられた新しい働き方のモデルであった。

その後、Forbes 30 under 30にも選出された代表でロボットコミュニケーターの吉藤オリィ氏からお話しを伺った。「ありがたいは一方向的に言い続けるとしんどくなるので、キャッチボールできる仕組みを作ることが大切」とおっしゃっていたのが印象的だった。障害者雇用の新たな形として、自治体との連携も今後進むであろうことについても意見交換を行った。